

材料化学システム工学討論会 2019 報告書

幹事：岡山大学 渡邊貴一 副幹事：山内紀子(茨城大学)

2019年9月2～3日に同志社大学 東京オフィスにて材料化学システム工学討論会 2019 が開催され、合計6件の講演発表が行われた。一般講演1時間40分、学生講演1時間という発表時間にもかかわらず、どの講演についても講演者が用意した発表資料すべてを紹介できないほどの活発な議論が繰り広げられた。博士課程の3名の発表者も、様々な視点からの質問に対して論理的に丁寧に説明する姿勢が見受けられたのが印象的であった。学生参加者からも鋭い質問が出ていた。

本討論会実行委員会は1日目の討論会開催前に行われ、来年の討論会幹事は茨城大学の山内紀子先生、副幹事は群馬大学の石飛宏和先生にお願いすることになった。

懇親会は1日目の講演の後、同会場にて立食形式でおこなわれた。懇親会には当日の討論会参加者全員が出席し、1時間程度の短い時間であったが、参加者同士で意見交換を行い、交流を深めた。本討論会のオブザーバーを務められた庄野厚部会長からの乾杯の挨拶では、若手研究者を中心に普段学会では聞きにくい研究の裏話から、データの細かい点まで「徹底的に」議論し合う本討論会の様子に関して、好意的なコメントをいただいた。

本会の詳細は下記の通りである。

日時	9月2日 13:00～18:30 3件(いずれも依頼講演, ひとり1時間40分) 9月3日 9:10～12:30 3件(いずれも依頼講演, ひとり1時間)
会場	同志社大学 東京オフィス
聴講者数	計32名(一般:24名, 学生:8名)
依頼講演	『効率的なゼオライト合成』伊與木 健太氏(東京大学) 『ナノ粒子の細胞膜直接透過現象の解析と制御』仲村 英也氏(大阪府立大学) 『合金系潜熱蓄熱マイクロカプセルの開発とその応用展望』能村 貴宏氏(北海道大学) 『渦流が関与する固体材料形成：気相反応を介した結晶成長および粒子分散液乾燥における構造形成』井上 介氏(東京農工大学) 『多孔性配位錯体微粒子からなる球状集積構造の作製と吸着特性評価』藤原 篤史氏(京都大学) 『多孔質膜の微小細孔空間を反応場とするイムノセンシング法の設計・開発』奥山 浩人氏(東京工業大学)

その他：討論会終了後に撮影した参加者集合写真を次ページに記載する。



以上